

ワークライフバランス

仕事と生活の調和が実現できる職場環境を目指して

仕事と子育て等の両立支援

財務局では、働き方の改革による仕事と育児・介護等の両立を実現し、女性の一層の活躍を推進するため、「財務局女性職員活躍とワークライフバランス推進のための取組計画」を策定し、両立支援制度が活用しやすく、また活用した後も、本人のキャリアプランを踏まえ、安心して仕事と生活の両立が実現できるよう、職場環境の整備に取り組んでいます。また、フレックスタイム制やテレワークを活用することにより、柔軟な働き方が可能です。

結婚・妊娠したら	<ul style="list-style-type: none"> ●結婚したときに利用できる制度 <ul style="list-style-type: none"> ○結婚休暇(5日以内) ●妊娠中の女性職員が利用できる制度 <ul style="list-style-type: none"> ○一定の要件を満たした女性職員は、以下のような制度を利用することができます。 <ul style="list-style-type: none"> ①深夜勤務・時間外勤務の制限 ②健康診査等のための職務専念義務免除 ③通勤緩和等 	子育て・介護のために
出産のときには	<ul style="list-style-type: none"> ●女性職員のための休暇制度 <ul style="list-style-type: none"> ○産前休暇(6週間) ○産後休暇(8週間) ●男性職員のための休暇制度 <ul style="list-style-type: none"> ○配偶者出産休暇(2日以内) ○育児参加のための休暇(5日以内) 	育児のために
	<ul style="list-style-type: none"> ●フルタイム勤務のまま勤務時間帯を変更するための制度 <ul style="list-style-type: none"> ○早出遅出勤務、休憩時間の短縮 (一定の要件を満たす子育て・介護で利用可) ●子の看護、家族の介護のための休暇制度 <ul style="list-style-type: none"> ○子の看護休暇、短期介護休暇 (対象者1人につき年5日(最大10日)) ○介護休暇(6か月以内) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ●育児に専念するための制度 <ul style="list-style-type: none"> ○育児休業 (子が3歳に達するまで取得可) ●勤務時間をフルタイムより短くするための制度 <ul style="list-style-type: none"> ○育児短時間勤務、育児時間 (子が小学校就学の始期に達するまで取得可) 	

育児休業

現在の仕事内容

物品の調達等の業務を担当しています。

育児休業を取得した感想

ある日の朝、午前3時に次女のミルクをやり、仮眠も束の間、起床した長女に呼ばれます。時計をみると7時。ねぼけまなこで長女のご飯を用意していると、「うえ〜ん」と次女の声が。ミルクの時間かなと思い、調乳していると、再び「うえ〜ん」という声が出て、振り返ると、牛乳をこぼしてしまい泣いている長女の姿がありました。そのような慌ただしい日々を過ごすことで、心身の疲れを感じました。しかし、懸命に子供と向き合うことで、メリットが多くありました。まず、妻と同じ目線で話し、育児の悩みを共有することができました。また、主体的に育児に取り組むようになり、これからまだ長い育児の下地ができました。さらに、客観的に仕事と向き合う時間ができ、復職後の働きがいが向上しました。そして何より、子供の笑顔と成長過程を間近で見ることができました。

財務局の雰囲気

財務局では仕事と家庭の両立支援制度が充実しているだけでなく、職員一人ひとりの事情を尊重し、後押ししてくれる雰囲気があります。実際に制度を活用している職員は多く、みなさんそれぞれのライフステージに応じて、有意義な日々を過ごしています。



四国財務局
総務部会計課
用度係長

亀山 快司
KAMEYAMA Kaiji
平成28年度採用



平成28年4月 四国財務局採用 徳島財務事務所理財課
平成30年7月 四国財務局総務部会計課経理係
令和2年7月 四国財務局総務部経済調査課
令和3年7月 四国財務局徳島財務事務所総務課
令和3年10月～令和4年6月 育児休業取得
令和4年7月 現職

ワークライフバランス

現在の仕事内容

資金移動業者及び前払式支払手段発行者の監督及び登録に関する業務を担当しています。

仕事と育児の両立について

私には1歳の息子がいます。育児休業は息子が8か月になるまで取得しました。現在は、周囲の方々のご協力をいただきながら、フレックスタイムと育児時間、昼休憩時間の短縮を利用し、保育園へのお迎えや息子のお世話をする時間を確保しています。息子の発熱等により急に休暇を取得せざるをえないこともあるので、仕事は優先順位を決めて行うとともに、周囲と進捗状況等を共有するよう努めています。仕事と育児の両立は大変ではありますが、息子の寝顔を見ると自然と明日も頑張ろうと思えます。

職場の雰囲気

財務局は育児・介護など家庭環境等に合わせて様々な制度があり、制度を活用している職員も多いため取得しやすい雰囲気があると思います。妊娠中、悪阻がひどく出勤するだけで精一杯だった時期と仕事の繁忙期が重なってしまいました。上司から「今はお腹の子が一番大事!」と業務分担を見直していただき、課内全体で支えていただきました。心から感謝しております。また、育休復帰後も上司との面談や子育て職員同士の意見交換の機会があるなど、一人で不安を抱えることなく業務を行える環境が整っていると思います。



近畿財務局
理財部金融監督
第四課調査官

元田 佐宜
MOTODA Saki
平成21年度採用



8:30～15:00

フレックスタイム制度と育児時間、休憩時間の短縮を併用

働くママの
1日の
流れ

5:30 起床・朝食・朝の支度	夫と分担し、子供の朝食、着替えを済ませます。保育園への送りは夫が担当のため、一足先に出動します。	
8:30 始業	まずメールのチェックを行い、至急の業務がないかを確認します。	
10:00 打合せ	上司に状況の報告、相談を行います。進め方で迷った際には早めに相談し、方向性を定めます。	
12:00 昼休み	同期と一緒にランチを食べています。他愛もないお喋りが貴重なリフレッシュとなっています。	
14:00 資料作成等	午前中の打合せを踏まえて資料を作成したり、業者へ連絡したりしています。業務は法令等を確認しながら進めます。	
15:00 退庁	やり残したことをスケジュールに記載するなど、翌朝直ぐに仕事に取り掛かれるようにしておきます。	
16:30	帰宅・お迎え	
17:30 夕食	週末に作り置きしている離乳食を使って、帰宅後すぐに夕食を食べられるようにしています。顔に離乳食をつけながら美味しくそうにパクパク食べてくれます。	
19:00 お風呂・歯磨き・遊び	お風呂に入った後、子供と一緒に絵本を読んだり、おもちゃで遊んだりしながら過ごしています。子供の成長を感じる貴重な時間となっています。	
20:30	寝かしつけ	